

環境工学におけるサステナビリティに関する GCOE シンポジウム ご案内



GCOE Symposium on Sustainability in Environmental Engineering

主 催：京都大学 GCOE 「アジアメガシティの人間安全保障工学拠点」
日 時：2011 年 7 月 21 日 14:00～17:25
場 所：京都大学桂キャンパス・C クラスタ・人融
参 加 費：無料
使用言語：英語

米国の環境工学研究の第一線で活躍されておられるジョージア工科大学の Crittenden 教授研究グループをお迎えし、サステナビリティや促進酸化水処理技術に関する最新の話題をご講演頂くとともに、本学の教員が上下水道技術におけるサステナビリティに関する研究状況を発表し、日米の環境工学におけるサステナビリティ研究に関する状況について互いに議論を深めるために、本シンポジウムを開催いたします。多数の方々のご参画を願って、ご案内申し上げます。

(プログラム)

- 14:00-14:05 Opening Address (Hiroshi TSUNO, Professor, Kyoto University)
14:05-14:35 GCOE Project (Yuzuru MATSUOKA, Professor, Kyoto University)
14:35-15:35 Developing Sustainable Urban Infrastructure to Solve Gigaton Problems
(John C. CRITTENDEN, Professor, Georgia Institute of Technology, USA)
15:35-15:50 Break
15:50-16:20 Advanced Oxidation Processes: Rational Design using Computational Chemistry
(Daisuke MINAKATA, Research Engineer I, Georgia Institute of Technology, USA)
16:20-16:50 Advanced Sewage Treatment Process with Phosphorus Recovery and Excess Sludge
(Fumitake NISHIMURA, Associate Professor, Kyoto University)
16:50-17:20 Sustainability in Water Supply [Tentative] (Sadahiko ITOH, Professor, Kyoto University)
17:20-17:25 Closing Address (Hiroshi TSUNO, Professor, Kyoto University)

(米国からの講演者紹介)

John Crittenden 教授は、1976 年にミシガン大学アンアバー校にて Ph.D を取得後、ミシガン工科大学、アリゾナ州立大学などで各種水処理を中心とした教育・研究活動に取り組みながら、現在はジョージア工科大学 Brook Byers Institute for Sustainable System の Director、Sustainable System の Hightower Chair・GRA Eminent Scholar、および土木環境工学の教授、ならびに学術雑誌 Environmental Science and Technology 副編集者として活躍されており、全米技術アカデミーや現代の世界の 100 人の著名な化学工学者に選出されておられます。これまでに 24 の National Awards、4 の State and Regional Awards、60 のプロジェクト、100 以上の論文発表、5 冊の著書、135 のレポートなどの実績があります。Daisuke Minakata 氏は、2005 年に本学環境工学専攻修士課程修了後渡米し、2010 年にジョージア工科大学にて Ph.D を取得後、引き続きジョージア工科大学にて研究員として、Crittenden 教授と共に促進酸化水処理技術やサステナビリティの研究に取り組んでおられます。お二人には分かりやすい英語でのご発表をお願いしておりますので、学生の皆様にも環境工学の生の英語を経験するよい機会になることが期待できます。

連絡先：

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂 C 1 京都大学大学院 工学研究科 都市環境工学専攻 津野研究室
電話：075-383-3350、FAX：075-383-3351、E-mail：sympo@water.env.kyoto-u.ac.jp